

# 擬態語による性格記述に関する理論的総括 および発展的検討

現代人間学部 心理学科  
教授 向山 泰代

研究種目： 基盤研究(C)  
研究期間： 2017年度～2019年度



本研究は、性格を記述する擬態語(例:さっぱりした人、ほんわかした人)に着目し、その意味や理解の過程を明らかにし、擬態語という観点から日本における性格認知とコミュニケーションの特徴について理論的総括を行うことを目的とする。

そのため、1) 擬態語性格尺度(小松ら, 2012)による6つの擬態語群、特にビッグファイブと呼ばれる性格の5次元とは関連が低く、擬態語による性格記述で特徴的な3つの擬態語群(緩やかさ・淡泊さ・軽薄さ)の意味を、他概念との関連から明確化する。2) 性格という概念が顕わになる日常の行動事例を収集し、性格認知の手がかりや認知過程を明らかにする。3) 異なる文化的背景を持つ人々の、擬態語による性格記述の理解度や理解過程を調べ、性格認知に影響する要因を検討する。

これらの成果をもとに、文化的観点を含め、擬態語による性格認知とコミュニケーションの特徴について理論的総括を行う。

## 主な著書

自他の性格評定に使用可能な擬態語性格尺度の構成  
2012年6月 心理学研究 83巻2号 82～90頁(共著)

擬態語性格尺度短縮版の作成 2015年12月 パーソナリティ研究 24巻2号 163～166頁(共著)

擬態語による性格認知と友人関係におけるリーダー/フォロワー役割 2016年1月 心理学研究 86巻6号 589～595頁(共著)

Gitaigo as a means of determining the characteristics of Japanese personality cognition. Presentation at The 124th annual Convention of the American Psychological Association, 5th August 2016 Denver, Colorado. (共同)

日本語には擬音語や擬態語が多く、性格表現にもよく使われている

擬態語は……  
日常のコミュニケーションの中でどのような働きをしているのか？  
日本での対人認知やコミュニケーションの特徴を反映するのでは？

例えば…  
“きっちり”した人

国立国語研究所HPより

